

スマートグリーン灌水システム  
SGI コントローラ

# 型式 SGI-200

## 設置マニュアル

専門施工業者様向け

製造・販売元



ダイトウ テクノグリーン株式会社

Ver. S21080

# 目次

---

□ 使用上の注意事項	2ページ
□ 各種図面（システムフロー図、回路図、配管図）	3,4ページ
□ 事前の確認事項（梱包内容、準備するもの）	5ページ
□ コントローラ収納ボックスの固定	6ページ
□ コントローラ本体の取り付け	7ページ
□ コントローラ本体と周辺装置の標準接続図	8ページ
I 電磁弁（型番：21T-G（3/4））の接続	9ページ
II 雨センサ（型番：RS-6）の接続	9ページ
III フローセンサ（型番：RN-1）の接続	10ページ
IV 警報装置の接続	10ページ
□ 設置後の確認	10ページ
□ 仕様表	11ページ
□ 設置に関するお問い合わせ先	11ページ

---

この度は当社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

以下に使用上の注意事項を記載しております。製品を安全にお使いいただくため、十分ご理解の上、正しくご使用下さい。

## 使用上の注意事項



**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの)

- ◆本製品は自動灌水制御のためのコントローラです。違う目的で使用しないで下さい。
- ◆本製品を改造して使用しないで下さい。
- ◆AC100V 以外の電源は使用しないで下さい。
- ◆濡れた手や汚れた手で作業しないで下さい。
- ◆本製品及び周辺機器の取り付けや取り外しは、元電源を切ってから行って下さい。

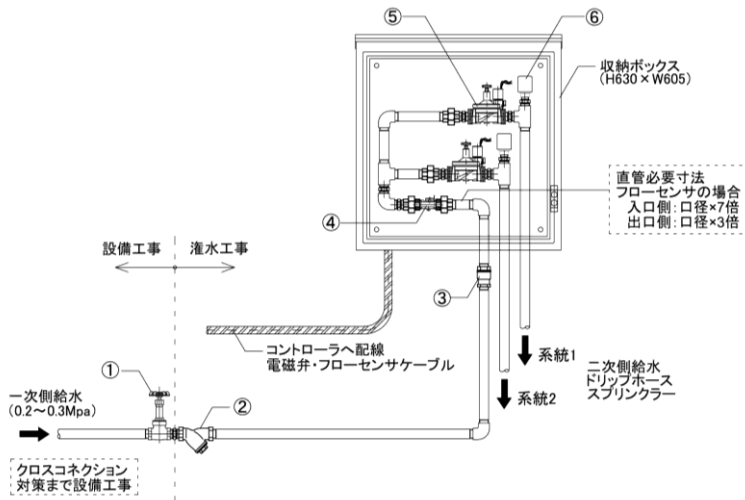


**注意** (誤った取扱いをしたときに、軽傷または物的損害に結びつく可能性のあるもの)

- ◆使用する電源に電氣的ノイズ等がないことを確認して設置して下さい。
- ◆工事・点検・停電時には必ず漏電遮断器を OFF にして下さい。
- ◆本製品に落下などによる強い振動や衝撃を与えないで下さい。
- ◆本製品に水や金属粉がかからないようにして下さい。
- ◆本製品を屋外で設置する場合には、防水・防塵のケースに入れて下さい。
- ◆元電源は漏電遮断器と接続して下さい。
- ◆電磁弁やセンサ類などの周辺機器は当社指定（推奨）のものを使用して下さい。
- ◆他の電化製品から離して設置して下さい。
- ◆以下のような場所では使用しないで下さい。
  - ・温度が+50℃以上もしくは-10℃以下の場所
  - ・湿度が80%以上の場所
  - ・振動、大きな衝撃、油煙、湯気、異常なノイズ、ほこり、結露などがある場所
- ◆配管などの凍結が予測される場所では、ラッキングや水抜き等の対策を行って下さい。
- ◆定期的に清掃・点検などのメンテナンスを行って下さい。



各部材の選定や逆流防止対策、凍結対策は各現場ごとにご検討下さい。

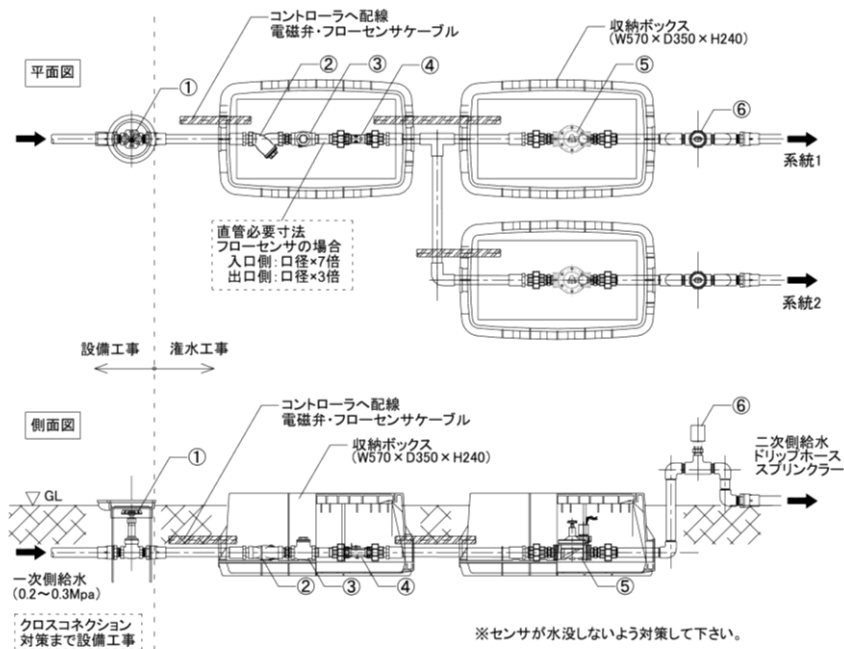


※フローセンサの場合、各系統(電磁弁ごと)に取付可能です。

① 給水バルブ 20A	④ フローセンサ		
② ストレーナー 20A	⑤ 電磁弁 20A(AC24V)		
③ 逆止弁 20A	⑥ 吸気弁		

(図3) 参考配管図 壁付けタイプ

各部材の選定や逆流防止対策、凍結対策は各現場ごとにご検討下さい。



※センサが水没しないよう対策して下さい。

※フローセンサの場合、各系統(電磁弁ごと)に取付可能です。

① 給水バルブ 20A	④ フローセンサ		
② ストレーナー 20A	⑤ 電磁弁 20A(AC24V)		
③ 逆止弁 20A	⑥ 吸気弁		

(図4) 参考配管図 埋設タイプ

## 事前の確認事項

◎本製品の取り付けは、必ず専門の施工業者様にて行って下さい。

◎本設置マニュアルは標準的な取り付け方法を紹介しております。設置にあたっては、現場の条件やルールに従って設置して下さい。

### 梱包内容

- ・ SGIコントローラ（型式：SGI-200）：1台
- ・ 専用コネクタ付ケーブル：5本
- ・ 取扱説明書：1部
- ・ 設置マニュアル：1部

### 準備するもの

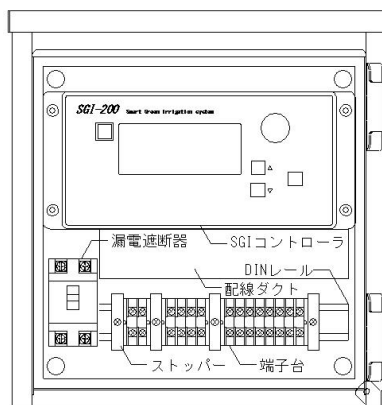
- ・ コントローラ収納ボックス（固定・設置部品含む、6ページ参照）
- ・ 漏電遮断器や端子台等のコントローラ収納ボックス用部品
- ・ 各種センサと警報装置（必要な場合）
- ・ 電磁弁やストレーナ、逆止弁等の配管部品
- ・ 各種配線ケーブル、圧着端子
- ・ 各種必要な工具

※コントローラ本体を屋外に設置する場合は、

必ずボックス等に納め、防水・防塵の対策を行って下さい。

※専用のコントローラ収納ボックス（漏電遮断器、端子台含む）をご用意しております。

詳しくは販売元にお問い合わせ下さい。（図5）



（図5）専用コントローラ収納ボックス（型番：SGI-BOX330）  
の漏電遮断器・端子台配置図

## コントローラ収納ボックスの固定

コントローラ収納ボックスの取り付けは、十分強度のある壁面に、落下しないよう確実にアンカー等で固定して下さい。(図 6)

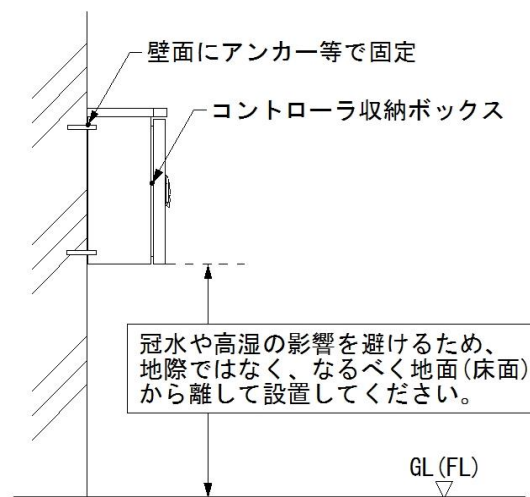
※コントローラ本体およびボックス内の基板を取り出して作業を行って下さい。

※金属ボックスや基板を削穴する場合は、コントローラ本体内部や端子台、漏電遮断器等に金属粉が入らないよう十分に気をつけて下さい。故障の原因となります。

※固定用のアンカー等は壁面や荷重に合わせてご用意下さい。

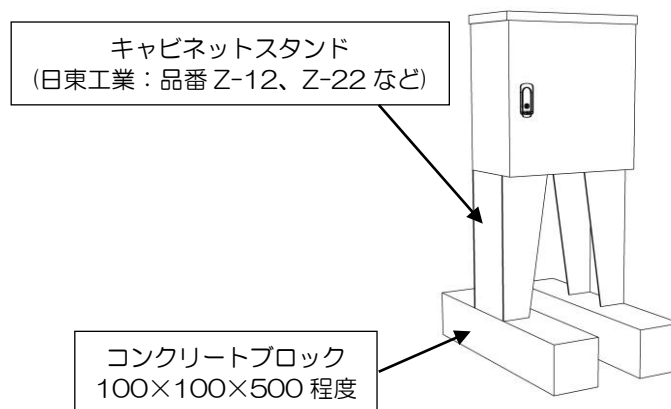
専用コントローラ収納ボックス(型番:SGI-BOX330)を利用した場合の荷重は、コントローラ本体を含め8kg程度です。

※ボックスの取扱いは、ボックスの取扱説明書をご参照下さい。



(図 6) 壁面への固定例

壁面に固定が出来ない場合は、下図のようなスタンドを使用し、転倒しないよう床面に確実に固定・設置して下さい。(図 7)

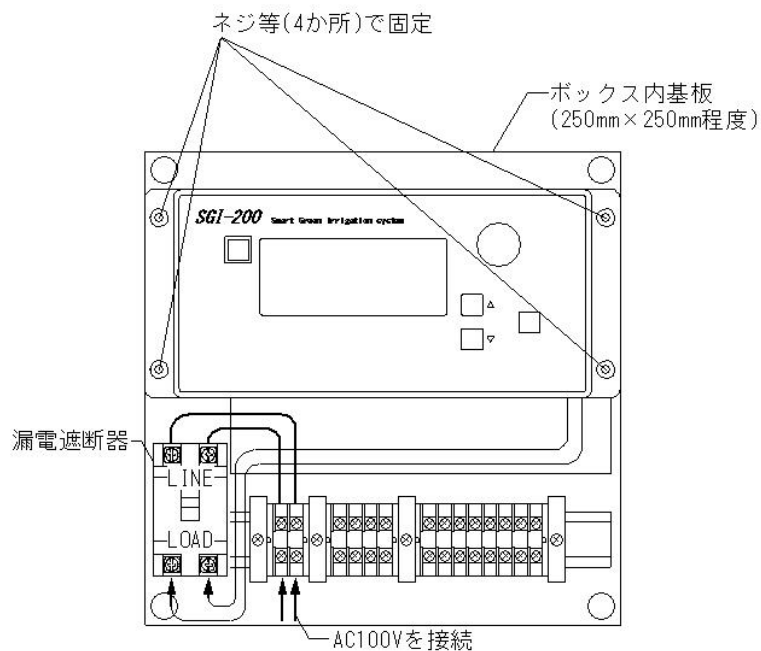


(図 7) スタンド式の固定例

## コントローラ本体の取り付け

- ① コントローラ収納ボックス内の基板に、コントローラ本体をネジやボルト・ナット等で固定（4箇所）して下さい。基板サイズは 250mm×250mm 程度のものご用意下さい。専用コントローラ収納ボックス（型番：SGI-BOX330）の基板にはコントローラ本体取付用のネジ穴があり、取付ネジも付属しております。
- ② 漏電遮断器のLOAD側にコントローラ本体の電源ケーブルを接続して下さい。  
※コントローラ本体には試運転用に電源プラグがついております。設置の際には電源プラグを切り離し漏電遮断器に接続して下さい。
- ③ 漏電遮断器のLINE側に端子台を経由してAC100V電源を接続して下さい。

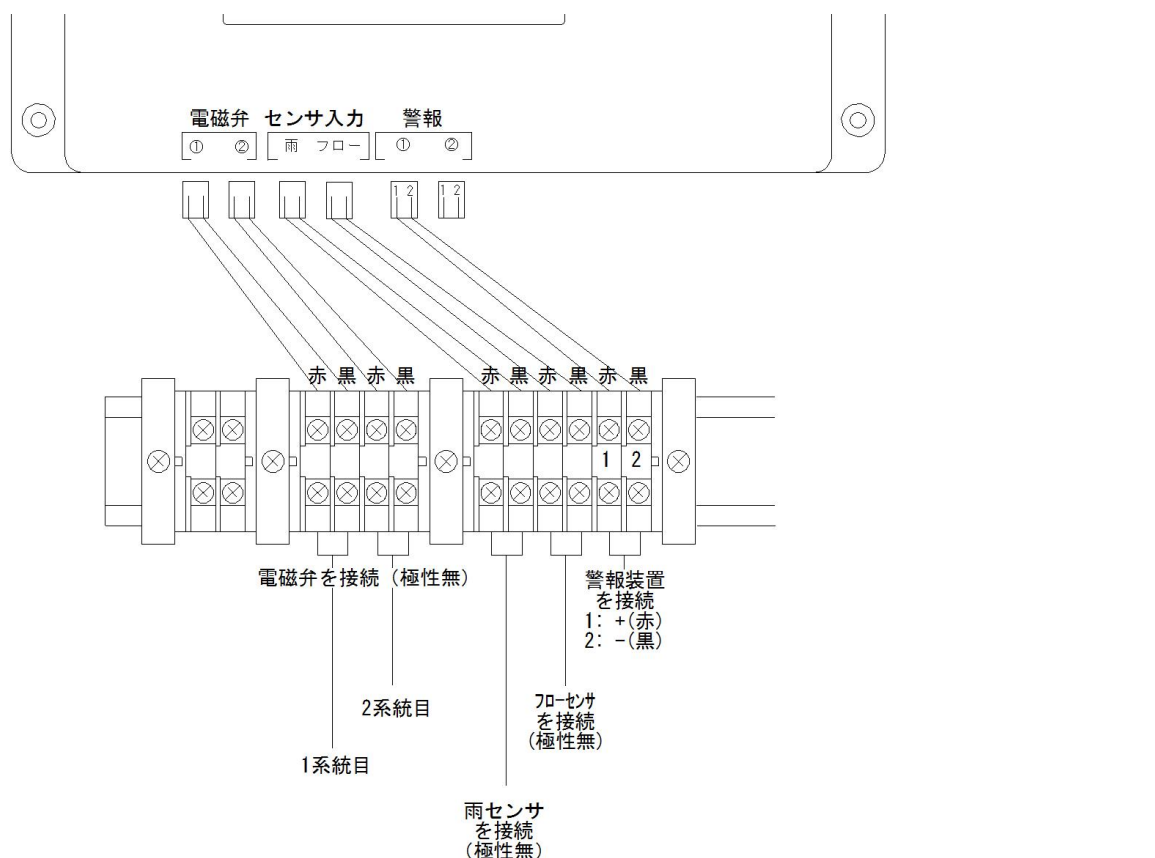
※金属ボックスや基板を削穴する場合は、本体内部や端子台、漏電遮断器等に金属粉が入らないように十分に気をつけて下さい。故障の原因となります。



(図 8) コントローラ収納ボックスへの取付図



## コントローラ本体と周辺装置の標準接続図 (図9)



※各コネクタをコントローラ本体に接続する際は、電源を切ってから行って下さい。

※端子台との接続は、圧着端子のご使用をおすすめします。

※本体付属の専用コネクタ付ケーブルは、強く引っ張ると抜けることがあります。接続後に抜け落ちないように注意して配線して下さい。

※端子台から電磁弁までのケーブルは、芯線サイズ0.75~1.25mm<sup>2</sup>、延長は200m程度までを推奨しております。

※端子台から各センサまでのケーブルは、芯線サイズ0.75~1.25mm<sup>2</sup>、延長は30m程度までを推奨しております。

### 警報①と②の違いについて

警報① 正常時は、通電がOFFです。

漏水異常時に DC5V 通電し、LED ランプ等が光ります。

警報② 正常時は、DV5V 通電がONです。

漏水異常や SGI-200 の停止、停電時に通電が切れ、LED ランプ等が消灯します。

## I.電磁弁（型番：21T-G(3/4)）の接続（図9参照）

- ① 接続できる電磁弁は1～2個です。
  - ② 電磁弁の設置場所を決めた後に、コントローラと電磁弁間の制御線のルートを決めて下さい。
  - ③ 電磁弁の制御線をコントローラ収納ボックスの底部の穴から引き込み、端子台に接続して下さい。  
極性はありません。
- ※PF管等を利用し、制御線を保護して下さい。
- ④ 本体付属の専用コネクタ付ケーブル（赤黒2極）を使用して、本体と端子台を接続して下さい。  
極性はありません。

※電磁弁の取扱いは、電磁弁の取扱説明書をご参照下さい。

— その他の電磁弁も接続できます —

（推奨電磁弁）

樹脂製

- ・グローベン社 C10SB220S
- ・CKD社 GSV形

金属製

- ・CKD社 RSV形
- ・CKD社 RSV-W形（日水協認定品）  
（RSV-Wで使用できるのは低ワットコイル（コイル形状：7A）のみです。）

※推奨電磁弁以外の電磁弁を使用する場合は、コントローラ本体の弁制御出力の仕様（電圧・電力(W)）に適したものをご使用ください。

（AC電磁弁を使用する場合は、定格がMAX電力(W)の1/3以下になるようにしてください。）

## II.雨センサ（型番：RS-6）の接続（図9参照）

- ① 接続できる雨センサは1個です。
  - ② 雨センサの設置場所を決めた後に、コントローラと雨センサ間の制御線のルートを決めて下さい。
  - ③ 雨センサの制御線をコントローラ収納ボックスの底部の穴から引き込み、端子台に接続して下さい。  
極性はありません。
- ※PF管等を利用し、制御線を保護して下さい。
- ④ 本体付属の専用コネクタ付ケーブル（赤黒2極）を使用して、本体と端子台を接続して下さい。  
極性はありません。

※雨センサの取扱いは、雨センサの取扱説明書をご参照下さい。

## Ⅲ.フローセンサ（型番：RN-1）の接続（図9参照）

- ① 接続できるフローセンサは通常1個です。  
※フローセンサを複数個使用することも可能です。詳しくは販売元にお問い合わせ下さい。
  - ② フローセンサの設置場所を決めた後に、コントローラとフローセンサ間の制御線のルートを決めて下さい。
  - ③ フローセンサの制御線をコントローラ収納ボックスの底部の穴から引き込み、端子台に接続して下さい。極性はありません。  
※PF管等を利用し、制御線を保護して下さい。
  - ④ 本体付属の専用コネクタ付ケーブル（赤黒2極）を使用して、本体と端子台を接続して下さい。極性はありません。
- ※フローセンサの取扱いは、フローセンサの取扱説明書をご参照下さい。

## Ⅳ.警報装置の接続（図9参照） （LED/型番：LED-R6、リレースイッチ）

- ① 接続できる警報装置はLED、リレースイッチを合わせて最大2個までです。
  - ② LEDランプはコントローラ収納ボックスの扉など見えやすい場所に設置して下さい。  
リレースイッチはコントローラ収納ボックス内に設置して下さい。
  - ③ 警報装置の制御線を端子台に接続して下さい。  
極性がありますのでご注意下さい。（1：DC5V プラス、2：マイナス）
  - ④ 本体付属の専用コネクタ付ケーブル（赤黒2極）を使用して、本体と端子台を接続して下さい。  
極性がありますのでご注意下さい。（1：赤、2：黒）
- ※警報出力②は正常時に常時DC5Vを出力しているのをご注意下さい。（8ページ参照）
- ※警報装置の取扱いは、警報装置の取扱説明書をご参照下さい。

## 設置後の確認

設置終了後、下記の項目をチェックしていただき、すべて問題ないことを確認して下さい。

- コントローラ収納ボックスが確実に固定されているか確認して下さい。
- 電源は、すべての結線が完了した後に安全を確認して入れて下さい。
- 極性がある機器は、電源を入れる前に、間違いがないことを確認してください。
- 制御線が接続されている端子台のねじが、緩んでいないことを確認して下さい。
- 雨水等がボックス内部に入ると故障の原因となります。扉が閉まっていることを確認して下さい。
- 水道元栓が開いていることを確認して下さい。
- コントローラの設定入力は、「取扱説明書」（別紙）にしたがって入力して下さい。
- 電源を入れたら、正常に稼動していることを確認して下さい。
- 定期的に警報装置を確認して下さい。作動しているときは、速やかにトラブルを解消して下さい。

## 仕様表

項目		SGI-200
基本	系統数（電磁弁）	2 系統
	定格使用電圧	AC100V（50-60Hz）
	消費電力	待機時：6W（トランス出力時：9W）
	表示部	20 文字×4 行、バックライト付液晶
	運転モード	メイン画面（他画面から 5 分後に自動復帰）
	自動リセット機能（誘電雷障害等から復帰）	システムフリーズ 5 秒後に電源をリセット
	停電保護（時計）	10 日程度（ただし 24 時間以上通電後）
	停電保護（灌水設定）	メモリー保存で半永久
	サイズ	H110mm×W250mm×D75mm
重量	1510g	
弁制御出力	交流（トランス）	AC24V（MAX19W）
センサ入力	雨センサ	1 チャンネル
	フローセンサ	1 チャンネル
警報出力	ランプ（DC5V/MAX550mW）	2 チャンネル
	リレースイッチ（DC5V/MAX550mW）	
設定方法	灌水季節	4 シーズン、月単位設定
	灌水曜日	各シーズン毎に任意設定
	灌水回数	最大 4 回/日、正時設定
	灌水時間	1～90 分/回、1 分単位設定
付属品	AC 電源ケーブル	1m
	専用ケーブル： 専用コネクタ（本体側）⇄裸線（端子台側）	2 ピン：5 本

## 設置に関するお問い合わせ先

製造・販売元

住所	〒194-0013 東京都町田市原町田 1 丁目 2 番 3 号
会社名	ダイトウテクノグリーン株式会社
TEL	042-721-1703